

にれ



校 訓

- 明るい子ども
- 考える子ども
- がんばる子ども

下川町立下川小学校

学 校 便 り

第 8 号

令和3年10月31日発行

学習発表会にご来校ありがとうございました

10月17日（日）、令和3年度の学習発表会を行うことができました。保護者の皆様には、お寒い中お集まり頂き、子どもたちの活躍をご覧いただきありがとうございました。コロナ禍でいろいろお願いせざるを得なかったことについても、どなたもマナーを守っていただき、大変スムーズに進行することが出来ました。

どの学年も、事前に行われた児童交流会の反省を生かして、修正できるところを修正し、より洗練された姿を保護者の皆様にご覧頂くことが出来ていました。

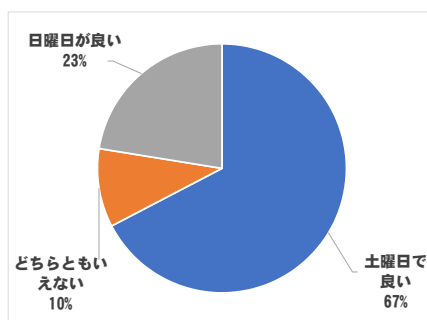
写真で各学年の活躍の一部を紹介します。



アンケート結果より

学習発表会では、来年以降の改善につなげるための参考として、来て頂いた保護者の皆さんにアンケートを取りました。その結果の一部をお知らせします。

感染予防対策では概ね学校の体制をご支持いただきましたが、「ダンスの時は健康被害を考え、マスクを取るべき」「受付のえんぴつの共有は避けるべき」などのご指摘をいただきました。また、発表内容では「観客からわかりやすい演出であってほしい」というご要望を数件いただきました。観客者数やビデオカメラ設置場所には、多様なご意見をいただいております。土曜日開催の考え方には、グラフのような結果となっております。



一日防災学校

学校の授業の中に防災の要素を取り入れ、児童生徒が防災知識を学び、災害時の「生きる力」を育む取組として、全道約100カ所の学校で一日防災学校を実施しています。今年度は、北海道教育庁の勧めにより下川小学校も10月26日（火）に全校で取り組みました。「1人1人が自然災害を正しく理解し、防災・減災行動について自ら考え、判断できる能力（生きる力）を育成すること。」がねらいです。

1校時には、洪水を想定しての全学年の避難訓練を行いました。地震や火災の場合、主な避難場所はグラウンドになる場合が多いのですが、河川の氾濫による洪水の場合は、水が引いて安全が確保されるまでの間、2階・3階への垂直避難が必要になります。2校時から、各学年が洪水の対応や、自然災害に向けた町作りの仕組みなどについて、消防署塩田さんや役場総務課杉本さんのご指導をいただきながら学んでいきました。



地域の方々に多様な活動を学ぶ

地域協働推進委員の本間さんや斎藤さんの仲介により、4～6年生が学ぶクラブ活動の時間に、多数の外部講師（下川在住の一般の方々）の皆さんにお越しいただいて、子どもたちの興味関心にできるだけ沿った多様な体験活動を提供してもらっています。10月7日（木）と14日（木）には、乗馬体験で小峰さん、サイクリングで多田さん、昆虫標本づくりで坂部さん、パークゴルフで伊藤さん、バスケットボールで遠藤さんと大西さん、囲碁で坪田さん、百人一首で三條さん、草木染で橋本さん、陶芸で陶芸クラブの皆さん、動画づくり表現で平間さんと切岸さんに、それぞれ講師をお引き受けいただきました。活動の一部を写真でご紹介します。





旅写心家 大平氏に学ぶ

6年生は、総合的な学習の時間「下川を住みやすくし隊」を学習しています。10月6日（水）には、福祉の視点から考えていくために、全盲のカメラマン（写心家）大平啓朗氏（43）を招き、お話を聞きました。大平さんは平成3年度の下川小学校の卒業生、24歳の時自己で失明しました。その後、約1年間をかけて全国（全ての都道府県）を一人旅、ホテルではなく一般家庭に宿泊して各地の写真を撮ってきた方です。今年の5月には自伝BLIND HAPPY MANを発刊し、今回下川小学校にも寄贈いただきました。6年生は、「写真のできればが見えないのにどうして写真家を続けて居られるのか。」など、質問し、大平さんの生き方や考え方、特に「幸せの捉え方は人それぞれである。」ということを学んでいました。

少年団紹介

学校での教育活動とは別の扱いになりますが、下川の子どもが活躍している活動である少年団活動を数回に分けて紹介していきます。

下川スキージャンプ少年団

ジャンプ少年団は小学生5名、中学生3名の団員がいて活動は下川商業高校とOBを合わせて21名で活動しています。少年団のOBにはオリンピックでメダルを獲得した葛西紀明選手らもいて「世界の舞台で活躍する選手を輩出する」ことを目標に毎日トレーニングに励んでいます。10月9日に秋田県であったサマージャンプ大会では小学生の部で下川ジャンプ少年団の団員が表彰台を独占、5年生の中村山太君は準優勝に入賞しました。これから本格的なシーズンが始まりますが体験入団も「大歓迎」ですので皆さんよろしくお願いします。



下川クロスカントリー少年団



下川クロス
スカントリ
ー少年団は
現在3年生
1名4年生
1名6年生
1名中学生

1名で活動しています。クロカンや複数競技（バイアスロンオリエンテーリング近代競技）に取り組みながら各種大会に参加して目標に向かって楽しく練習しています。その中でも今年はミニバイアスロンで2名が優勝することが出来ました。クロカンは全身を使うスポーツなので体力はもちろん気がついたらいつものまにか足が速くなっているというメリットもあります。練習日は不定期になりますが気になる方は直接電話して頂くかスキー場をのぞいて見てください。連絡先代表加藤準携帯090-9089-6983までお願いします。

芸術鑑賞

10月28日(木), 下川町教育研究会に主催で芸術鑑賞会があり, 「ひのき屋わいわい」の音楽演奏に合わせて会場全体で盛り上がりしました。途中で舞台に数名の子どもたちがある場面があり, 模範の太鼓を上手にまね, リズムよくたたいていました。



応援大使にちなんで

10月6日(水)と7日(木)は, 日本ハムファイターズ応援大使の特別メニューでした。松本選手の出身地である埼玉県郷土料理「鋳物汁」・特産物「梨」を取り入れ, 野村選手の出身地であるアメリカ合衆国からは家庭料理「マカロニチーズ」などの洋食でまとめました。子どもたちは食べる前から「今日はファイターズのメニューだね!」ととても楽しみにしている様子がうかがえました。



児童会総会

10月21日(木), 後期の次回総会が実施され, 各委員会の活動計画が承認されました。総会では, 会場から積極的に質問に立つ児童の姿が多数ありました。



11月行事予定

《11月の生活目標》 みんなで使う物を大切に使う
 《11月の保健目標》 好き嫌いをなくして, 元気な体をつくろう
 《2学期の給食目標》 食べ物について知ろう

インターネットで
見やすくなりました



学校便りは, 下川町ホームページでもご覧になれます。今月号から検索がしやすくなりました。

下川町HP→各課のページ→教育委員会→下川小学校・下川中学校です。

なお, ホームページには, 印刷を偶数ページにする都合で掲載できなかった記事もアップされていますので, 保護者の皆様も是非一度ご覧ください。

3日(水) 文化の日
 4日(木) 委員会活動④
 9日(火) 町教研大会(5時間授業)
 10日(水) 学校教育指導訪問
 13日(土) 町民文化祭(公民館作品展示)~14日(日)
 14日(日) フロンティアキッズ育成事業
 発表交流会(5年 札幌市)
 16日(火) 職員会議
 17日(水) 租税教室(6年)
 18日(木) 委員会活動⑤
 19日(金) 集団下校訓練
 23日(火) 勤労感謝の日
 24日(水) 参観日(5. 6年)
 25日(木) 参観日(3. 4年)
 26日(金) 参観日(1. 2年)
 29日(月) 朝会
 30日(火) 研修日

まちたんけん

2年生は、生活科「まちたんけん」で、町の施設やお店さんをまわり、気づいたことをまとめるため、お店の人に取材したり、仕事を体験させてもらったりしました。今回は、「ケータのケータリング」「Qマート」「おがた」「やまとや」「やない菓子舗」「ばかりっこ」にご協力いただきました。取材成果は、参観日などの折に探検報告会をする予定です。



特別支援支援員を募集しています

6月にもご案内しましたが、今年度下川小学校は、特別支援教育支援員2名を予定しておりましたが、1名が未だ欠員になっています。

月～金曜の8:00～15:30の勤務です。教員免許は必要ありませんが下川在住の方に限ります。ご応募・ご推薦お待ちしております。

隙間時間を活用した学習

学習のつまずきを克服するのは、過去の学習を復習するのが一番です。9月・10月は4年生で給食当番ではない児童が集まり、短い時間で前の学年の算数の復習に取り組ましました。



読み聞かせありがとうございます

下川町の読み聞かせサークルの皆さんは、交代で各学年の朝読書の時間帯に読み聞かせをしに来てくださっています。

この日は、小原さんが来校し、2年生に「どろんこハリー」などのお話をしてくれました。



人権を守ろう

10月4週～5週を、人権週間に設定し、いじめのアンケートや、必要に応じた個人面談のほか、道徳科の授業の中で人権に関する項目を学習し、人権を尊重する心を育てていきたいと考えています。

